



## 仙台市の避難所運営

仙台市では、大規模災害に備えて、避難のための広場と建物を備えた施設で避難生活を送るための場所として市立の小学校、中学校、高等学校等が指定されています。郡山小学校もその中の一つです。

### <仙台市避難所運営マニュアルから（抜粋）>

#### 指定避難所

- ▶ 住民等が発災直後から避難できる施設です。
- ▶ 原則として市が避難所担当職員を派遣します。
- ▶ 地域団体・避難者・市職員・施設管理者等が協働して運営します。

#### 避難所運営

- ▶ 避難所運営に必要な様々な活動を円滑に行うため、避難所では、連合町内会等の地域団体及び避難者、仙台市が派遣する避難所担当職員、施設の管理者や職員からなる「避難所運営委員会」を立ち上げ、組織的な活動を実施します。

#### ◇「地域団体」とその役割

- ▶ 連合町内会や各町内会など、避難所が設置される地域で組織されている団体です。
- ▶ 地域によって民生委員児童委員や地区社会福祉協議会等も密接に関わるなど、形は様々ですが、本マニュアルでは地域団体として記載しています。
- ▶ 特に避難所開設当初においては、円滑に運営を開始するために、地域団体が中心となって運営の各種活動を行います。

#### ◇「避難者」とその役割

- ▶ 避難所に避難される方です。避難者は、おおむね避難所が設置されている地域の住民ですが、それ以外の方が避難される場合もあります。
- ▶ 避難者は、地域団体等の指示のもと、避難所の各種活動を積極的に行います。
- ▶ また、避難所運営委員会は、時間の経過とともに地域団体中心から避難者中心へと移行し、避難者による自主的な運営を行っていきます。

#### ◇「避難所担当職員」とその役割（仙台市）

- ▶ 仙台市から避難所に派遣される職員です。市が避難勧告等を発令した場合や、市内で震度6弱以上の地震が発生した場合に、各指定避難所へ派遣されます。
- ▶ 避難所担当職員は、避難所運営委員会の活動全般に携わるとともに、主に区との情報連絡を行い、避難所内の課題解決に向けて要請や調整を行います。

#### ◇「施設管理者・職員」とその役割（学校）

- ▶ 避難所となる施設の管理者や職員です。
- ▶ 避難所内の居住スペースや共有スペースを設置する際に調整や助言を行うなど、施設の活用に関することを中心に運営の支援を行います。
- ▶ 避難所として活用する施設には、本来別の用途があります。避難者の受入れは一時的なものであり、自宅に戻ることでできる方や仮設住宅などへの受入れが決まった方には退所を促し、施設本来の用途の回復を目指します。

先日、郡山小学校でも避難所運営委員会を中心として防災訓練を実施しました。地域の方々が「総務」「名簿」「食料・物資・情報広報」「救護・衛生」の各班に分かれて組織を確認した後、パーティーの組み立てや発電機の操作等の実際的な動きを全員で確認しました。地域の皆様の災害に対する高い危機意識と避難所開設への主体性を感じる訓練でした。

学校は、上記仙台市の方針の通り、避難所開設に当たっては、主に学校施設の活用に関することを中心とした運営支援を行いながら、児童の義務教育の場として、一日も早い学校再開を目指す立場にあります。地域住民を中心として自立した避難所運営委員会の活動によって、学校を地域防災の拠点として活用することができるよう、施設管理者として可能な限りの協力・支援を行って参ります。

..... 切り取り線 .....

※学校への御意見・御要望・校長に知らせたいこと など

2021年7月2日（ ）年（ ）組 児童氏名